

学校だより



令和8(2026)年9月30日
尼崎市立あまよう特別支援学校

あかるく まえをむいて よろこび うまれる

No. 6



おめでとう! あまよう 創立68周年

本校は、昭和33年4月1日に水堂小学校の4教室を仮校舎としてスタートし、10月3日に開校式を行ったことから、10月3日を創立記念日としています。

その後、昭和35年に、西宮市田近野町に新校舎が完成して移転、平成31(令和元)年に、現在の場所に新校舎が完成して移転しました。今年、尼崎養護学校として60年、あまよう特別支援学校として8年となり、創立68周年を迎えました。

この68年の間には、昭和33年の第1回運動会で飛ばした風船をきっかけに、長野県立上田東高校との交流や、平成7年の阪神・淡路大震災、令和2年からのコロナ禍等、色々なことがありました。そして、数多くの卒業生やそのご家族をはじめ、「あまよう」を応援してくださる方々とともに歩んできた歴史があります。

これからも子どもたち一人ひとりを真ん中に据えて、保護者の皆様と連携を図りながら、教職員が一丸となってお子さまの成長を支えてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



・昭和38年に落成した鉄筋校舎とスクールバス ・現在の校舎とスクールバス

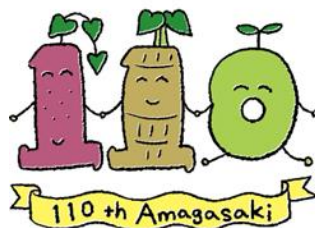
おめでとう! 尼崎市 市制110周年

大正5年(1916年)に尼崎町と立花村(東難波、西難波)の一部が合併し尼崎市が誕生(市制施行)しました。市制施行日は大正5年(1916年)4月1日ですが、昭和11年(1936年)4月に小田村と合併し、その記念式典の日である10月8日が「市制記念日」として定められています。

110周年のロゴマークは尼崎の伝統野菜、「尼いも」「田能の里芋」「一寸そら豆」が、笑顔で、仲良く手をつないで歩き出すイメージで作成されたそうです。

10月8日(木)に、110周年のテーマにちなんで、昔と今をつなぎ、地域とつながり、未来へと動き出す市制110周年記念給食が実施されます。子どもたちが尼崎市の歴史や魅力を知り、尼崎市に愛着をもつ機会となることを願っています。

つなぐつながる
うごきだす



(校長 渡邊 明美)

☆校外行事について

10月は朝晩の気温差や日による寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期です。色々な校外行事を予定していますので、お子さまの調子が悪い時は無理をされず、早めに休養して、体調を整えていただき、楽しく活動ができるようにご協力をお願いします。



○校外学習(小学部1・2年)

10月7日(水)【予備日14日(水)】にマックス・バリュへ校外学習に行きます。買い物学習として、事前にお家の人と相談して決めたものを、子どもたちが、わくわくしながらお財布を持って、買いに行きます。

○わくわくオーケストラ(中学部1年)

10月7日(水)に兵庫県立芸術文化センターでオーケストラの演奏を聴きに行きます。これは、佐渡裕芸術監督の「感受性豊かな子どもたちに生のオーケストラに触れてほしい」という思いから始まった兵庫県の中学1年生が対象の事業です。KOBELCO 大ホールにおいて、映像を交えた楽曲解説や出演者による楽器紹介など、オーケストラ公演を聴くのが初めての中学生でも楽しめる演奏会です。



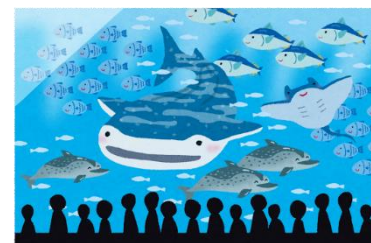
○宿泊学習(高等部2年)

10月8日(木)～9日(金)に国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)へ宿泊学習に行きます。見学先の堺市立ビッグバンは段差のない構造の福祉施設で、宇宙船をモチーフにした外観が特徴的な全天候型の施設です。1日中楽しめる体験やイベントもあり、作る、学ぶ、体を動かす楽しさを体験してきます。

○修学旅行(高等部3年)

10月29日(木)～30日(金)にユニバーサルスタジオジャパンと海遊館に修学旅行に行きます。

あまよう特別支援学校での学校生活も、あと半年。一緒に学んだ仲間と一緒に楽しく活動し、たくさんの思い出を作ってきます。



☆がんばった トライやる・ウィーク!



中学部2年生が、マックス・バリュでの商品陳列やレジ打ち体験をしたり、中央北生涯学習プラザで「ふくる」さんに協力していただ



いて「あまトピア」というお店を開いたりして、トライやる・ウィークの体験活動に一生懸命に取り組みました。中学部、1・3年生も色々な活動に協力してくれました。